

なぜ日本では「お茶」は無料で「紅茶」は有料？

理事（東京都豊島区）

僕がメンバーのゴルフ場で、友人が昼食後紅茶を飲みました。¥500でした。他の3人は、食後に無料の「お茶」が出てくるのを知ってましたから、コーヒーとか紅茶を頼みませんでした。そこでこの議論が勃発しました。

彼曰く「紅茶だって日本茶だってコストはかかるよなあ、どうしてお茶は無料で、紅茶は有料なんだ？」



と笑って怒っています。お茶は4人全員に持ってきてくれたので、彼の前には紅茶とお茶が並びました。

自分が、WSCでの旅行や個人旅行をした際に、いつも不思議に思うことです。ヨーロッパやアメリカを旅行して、コーヒーや紅茶が無料で食卓に届くことはまずあり得ません。コース料理に含まれている場合でも、無料ということではないはず。来日した中国人団体が、昼食の前に「お茶」が配られて、頼んでないのに出てきたが、有料か無料かと心配し「無料」と確認して安心して飲むそうです。

この問題は、僕が小学生だった時からの疑問で、後期高齢者になった今でも解決していません。子供の頃の旅行で、駅弁を買った時には必ずと言っていいほどプラスチックに入った有料の「お茶」を買いました。店で飲む「お茶」は無料で、この入れ物に入った「お茶」は有料でした。有料の「お茶」とは、「容器代」だったのでしょうか。幼少の僕にはとても不思議な問題でした。あれから65年。NHKの番組「ボーッとするとチョコちゃんに叱られる」に投書してみようとも考えましたが、もう放送されてしまった可能性もありますし、……。75歳になって、改めて聞くのも何となく憚られます。ご存じの方、是非ご教示いただきたく願います。

また、昆布茶は無料なのか。このゴルフ場のおねえさんに聞いてみました。無料だそうです。頼まれれば、提供するそうです。因みに昆布茶は、飲み物のメニューには記載はありません。そういえば「お茶」もメニューにありませんでした。これは、このゴルフ場のサービスで、どこでも通用するとは思えません。また、別の議論も起こりました。昆布茶は「お茶」なのか。はたまた、麦茶は「お茶」かという疑問です。大麦の種子を焙煎して煎じてつくったものが麦茶ですから、茶葉は使用されていないのに麦茶という。これも無料の場合が多いのはなぜでしょうか。

なぜ、「お茶」は無料なのでしょう。

ある先輩は云います。「江戸時代から街道などには茶店があったが、お茶がメインではなくお団子とかおにぎりとか食べ物を提供して、その食べ物を食べやすく



するために無料で提供していたのではないかと推測できる。その習慣が、今の時代にまで残っているのではないかと、もっともらしいですが、・・・正解なのでしょう。